

# 被災地への全国からの 応援職員を紹介します

平成28年9月

- ①氏名 ②派遣元団体 ③所属課(業務内容)  
④派遣期間 ⑤自己紹介

## 川 俣 町



①宮部 浩樹 (みやべ ひろき)

②東京都江東区

③総務課 (役場新庁舎の設計及び工事監理等)

④平成25年4月1日～平成29年3月31日

⑤震災で被災した町役場庁舎の建替えに計画段階から従事して、たまたま派遣先とのご縁があって派遣生活も4年目になりました。

今年秋頃の町役場新庁舎落成に向けて、現在建物がほぼ出来上がり、敷地整備の工事が進んでいます。川俣町の復興のシンボルとして、着実に形になりつつあり、大変なこともありますがとてもやりがいのある仕事です。

新庁舎落成に向けて、最後までがんばってまいります。

# 相馬市


①宇都 健一(うと けんいち)

②鹿児島県日置市

③建設部 下水道課 建設係(工事管理)

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤福島県は 多くの災害を受けて、『義を見てせざるは勇無きなり』と思い、相馬市の復興の手伝い来ました。相馬市は、春は中村神社の桜・夏は相馬野馬追・秋は相馬民謡全国大会・冬はいちご狩りと良いところです。相馬の職員と市民の方は『ぬぐい』人ばかりで助かっています。福島県の食はもちろん温泉と会津の銘酒を堪能したいです。『頑張るぞ 相馬』『チェスト・福島』

 総合テレビ・2017・3月放送予定『絆~走れ奇跡の子馬~』福島県の相馬を舞台に圧倒的なスケールで描くスペシャルドラマがあるので、ぜひ見てください。

⊕ かごつま(鹿児島)も、よか(良)とこじゃで、あそっけ(遊び)き(来)やたもんせ。



①眞田 康弘(さなだ やすひろ)

②静岡県裾野市

③建設部 都市整備課 まちづくり係(災害危険区域の買取り担当)

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤震災復興の力に少しでもなりたいと思い、今回の派遣を志願しました。

人生初の福島県で、言葉や生活環境の違いに初めは戸惑うこともありましたが、温かく心優しい人が多く、毎日充実した日々を過ごしています。

派遣先の相馬市は親切で明るい職員ばかりで職場には常に笑顔が絶えません。休日には趣味のラーメン店巡りで福島を満喫しています。お世話になっている全ての方々に感謝しながら、日々の業務に全力で取り組んでいます。

①増田 智成(ますだ ともなり)

②三重県菟野町

③建設部 土木課 土木係(工事管理)

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤福島県のイメージとして、自然が多くてのどかな所だと思いました。この自然の多い場所での復興支援活動に携わることができ、光栄に思って復興がより早く進むことに協力したく思います。



①山田 努（やまだ つとむ）

②福井県大野市

③産業部 農林水産課 農地林務係（農地災害復旧担当）

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤私にとって「フクシマ」には特別な思いがあります。建設コンサルタント会社勤務時代に喜多方市の土地区画整理事業に携わり「まちづくり」の大切さや、やりがいを学びました。業務を通じて行政職員として「まちづくり」をやってみたいと強く思い、転職のきっかけとなりました。人生の一大決心をさせてくれた「フクシマ」の復旧、復興を心から願っています。

想いは「復興日本 ともに前へ！」です。



①渋谷 麻美（しぶや あさみ）

②神奈川県海老名市

③保健福祉部 保健センター 健康増進係

④平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤地方公務員として何かお役に立ちたいと思い、被災地への派遣を希望しました。

今までとは違う環境での生活に、不安や緊張もありましたが、実際に生活を始めると、福島県の自然の美しさや食べ物の美味しさ、市民の方々の温かさを知り、すぐに住みやすさを感じることができました。

相馬市保健センターの業務に携われたこと、相馬市職員や他の派遣職員と交流をもてたことは貴重な経験であり、相馬市に来てよかったと思います。

## 南相馬市

①岡田 修平（おかだ しゅうへい）

②福島県

③建設部 土木課 管理係

④平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤平成 16 年中越地震、平成 19 年中越沖地震、平成 23 年東日本大震災と三つの地震をまじかに体験し、民間企業で三つとも復旧に携わってきました。もう復旧も復興も携わりたくないと思っておりまして、平成 25 年にたまたま J ヴィレッジを訪れることがあってみると 3 年近くになろうとしているのに放射能のために復旧復興がまだまだと感じ、何かできることがあればという思いに至りました。

南相馬市に派遣されて 3 年目ですが、昨年（平成 27 年）あたりから目にみえる復興を感じるようになりました。

微力ながら手助けになればと考えております。





①加藤 牧子 (かとう まきこ)

②福島県

③健康福祉部健康づくり課母子保健係

乳児訪問、乳幼児健診等母子保健に関する業務

④平成28年4月2日～平成29年3月31日

⑤千葉県出身で、震災後平成28年3月まで岩手県大槌町で働いていました。これまでの経験を福島で生かしたいと思い、4月から福島県任期付派遣職員として南相馬市でお世話になっております。南相馬市は、歴史、地場産品、文化芸術など魅力が多く、人も温かいためとても住みやすいまちです。精一杯、南相馬市の一員として力を尽くしていきたいと感じております。よろしくお願いいたします。



①土屋 伸 (つちや しん)

②福島県

③市民生活部 生活環境課

④平成25年4月1日～平成29年3月31日

⑤浜通り地域は帰還困難な場所もあり、東日本大震災から5年以上が経過した今でも、復興は未だに道半ばという印象を受けます。ニュース等で多くのことが伝えられていますが、福島県の被災状況と復興は、この場所に立つことで、初めて「気付くこと」、「考えるべきこと」、「出来ること」があると思い、本職を希望しました。地域の方々のご協力に日々、感謝しつつ、少しでも復興の役に立てればと考えて、勤務に従事しています。



①北島 裕行 (きたじま やすゆき)

②福島県

③建設部土木課 事業係 (道路・橋梁・河川の整備)

④平成27年4月1日～平成29年3月31日

⑤62歳で公務員1年生採用職員研修と専門研修を経て、力になれるのか不安を抱えつつ3年目を迎えた。職場では燕市、小千谷市、杉並区、佐野市等の行政経験者が応援職員として活躍し、ほぼ1年で入れ替わっている。市への自治法派遣人数は60数名から40数名と推移しているがこの減少は復興が進んできたことを意味していると思う。

海・山・湖があり全国で3番目の面積を有する福島県。住めば都である。10号台風一過、一部作付が再開された稲穂の金色、圃場整備中の赤土と黒い表土、仮置場の白堀と黒い袋、モニタリングポストや新築の住居が目につく南相馬市です。

## 三 春 町



①森 敦基（もり あつき）

②愛知県愛西市

③建設課（道路工事の測量、設計、積算、監督・道路管理者としての維持全般）

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤三春町は派遣職員の受入について、暖かく、働きやすい環境です。また、町としても住み良いところで、気に入っています。愛西市の歴代の派遣職員も皆口をそろえて、「愛西市へ帰りたくない」と話しています。派遣期間の途中ではありますが、私も 1 年は短い、あと数ヶ月しか居られない。と思いながら日々、楽しく過ごしています。

私の出来る事は限られていますが、少しでも助けになれるように尽力し、悔いの無いようにがんばります。



## 檜 葉 町

①山内 英樹（やまうち ひでき）

②長崎県壱岐市

③建設課（土木設計積算）

④平成 28 年 7 月 1 日 ～ 平成 28 年 9 月 30 日

⑤震災後から交代で檜葉町に派遣が始まり、私自身は3回目となります。職員の皆様にはアットホームなかなんじで親切に対応していただき、恩返しのため、檜葉町の立場にたったインフラ整備を行っています。壱岐市とは、派遣以外にも小学校同士の交流やイベントの参加など積極的につながりを深めています。壱岐市にぜひお越しください。

## 富岡町

①丸谷 祐二（まるたに ゆうじ）

②福井県敦賀市

③税務課（課税係）

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤私は平成 23 年 4 月 1 日付で入庁し、5 年間税務課にて住民税関係の業務に就いていました。今年度から富岡町役場の税務課で仕事をさせていただくことになり、不安な事が多くありましたが、職場の雰囲気がとても良く、仕事の面だけでなく私生活の面においてもサポートしていただけるので、安心して毎日を過ごすことができます。被災地の復興に向けて、今後もこれまでの経験を活かし、微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っています。



①白神 龍之介（しらが りゅうのすけ）

②埼玉県幸手市

③税務課（固定資産係）

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤埼玉県幸手市から派遣で参りました白神と申し

ます。税務課の固定資産係で業務に携わっています。

派遣当初はどのような雰囲気の職場なのか不安な気持ちもありましたが、富岡町職員の方々に温かく迎えていただき、公私ともに楽しく毎日を過ごさせていただいております。

富岡町では平成 29 年の帰町を予定しており、その際にお世話になっている方々の負担が少しでも軽くなるよう、微力ではありますが尽力したいと思います。

## 川内村



①中山 友子（なかやま ともこ）

②茨城県那珂市

③保健福祉課（保健師業務）

④平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤那珂市職再任用職員 1 年目に復興支援員の誘いがあり東京都庁の説明会に参加。そこで川内村の人事担当者に声かけられました。夫や子供達に相談すると「好きな事をやれって言っていたから今度はお母さんの番だよ」の言葉に背中を押され、派遣を受けることに。

私の主たる業務は、保健師として保健指導を通し村民に寄り添うことです。私が経験したことの無い様々な思いを持って自宅に戻った川内村民。映画館も図書館も喫茶店も無い、夜は人通りの全く無い村に当初は驚いたが、満点の星空と澄み切った空気と緑の山々。幼いころの昭和の原風景を見ているようです。私の趣味である「つるし雛作り」を通じ、来春には川内女性達と共に作品展を計画しています。復興 6 年目に向かう熟女達の作品を見に、川内村に是非おいで下さい。

## 大熊町



①北川 尚希（きたがわ なおき）

②福井県敦賀市

③環境対策課 放射線対策係

④平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤私は仕事の関係で、今回の派遣以前に何度か福島県を訪れ、被災地や発電所の様子を見せていただいたことがありました。初めて町の様子を見たときの衝撃は今でも思い出すことができます。本当にここは同じ日本なのか、そう思いました。私は主な仕事として、発電所の状況確認を行っており、同じ失敗を繰り返さないために何が必要なのかを考え、発電所でその対応が十分できているのかをしっかりと確認していきたいと思います。

## 浪江町

①渡辺 靖雄（わたなべ やすお）

②新潟県小千谷市

③まちづくり整備課（復旧・復興、再生に向けたまちづくり業務）

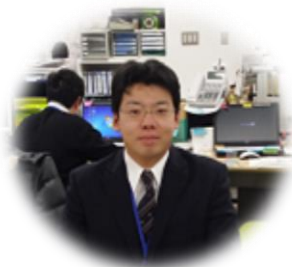
④平成25年4月1日～平成29年3月31日

⑤新潟県中越大震災を経験した職員として、少しでも浪江町の復旧・復興のお役に立てばとの想いで赴任いたしました。

震災から5年が経過した現在でも、町に住民が一人もいないという街中を、イノシシ・サル・キジ等が大手を振って闊歩している様は正に異様な光景と言わざるを得ません。

また、職務上、県内外に避難している住民を訪問し話を伺う機会が多くあります。そのなかで、津波や原発災害から逃げ延びた等、生の貴重な体験談を聞くことができます。

このように、浪江町が被った災害は、中越大震災とは全く異質の災害であり、改めて津波・原発災害の恐ろしさ、悲惨さを感じるとともに、貴重な体験をさせていただいております。



①手塚 謙勇（てづか けんゆう）

②千葉県成田市

③町民税務課（住民税課税減免事務）

④平成27年4月1日～平成29年3月31日

⑤新聞やテレビ等の報道で、震災のことを理解していたつもりでしたが、浪江町に派遣され、実際に業務に携わってみて、自分の認識が甘かったと痛感する毎日です。

浪江町が直面している悲しみに向き合いながら、浪江町の復興に向けて、自分は何ができるのか常に自分に問いかけながら、日々の仕事に取り組んでいます。



## 葛 尾 村

①梅宮 善顯（うめみや よしあき）

②福島県

③地域振興課 地域整備係（村営住宅・道路の維持修繕）

④平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日

⑤東北のウィーン郡山出身の自分が定年退職後再雇用されていましたが退職。うつくしま福島の復興に微力でもお役に立てればと応募させていただき採用されました。

育ったときと山脈等の風景は変わらず、福島3泣き等の人情も変わらずで、単身赴任も苦になっておりません。

職務の復興業務だけではなく、ボランティアでも復興に参加するようと思う日々です。

葛尾村民からいただいた言葉「何もしないでゼロでは悔いがあるが、やるだけやってゼロだったとしても悔いはない。」ジーンとしました。



平成 28 年 9 月 発行

編集 福島県総務部市町村行政課

TEL 024-521-7057

FAX 024-521-7904